

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	北條理恵子	所属	独立行政法人 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
研究会等名称	産業行動分析学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数（会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください） 会員 9名（うち認定心理士 0名） 非会員 23名（うち認定心理士 0名）</p> <p>2) 集会等の目的・成果等</p> <p>研究会の目的 産業安全分野では、おもに機械側からの安全対策が講じられており、作業員から生じた不安全行動は機械側をコントロールして危険回避を行っています。しかし、事故につながる要因は、最終的には作業員自身の行動に拠るところが大きく、機械側からの対策のみでは十分とはいえません。機械安全の領域では、人由来の要因については残留リスクのまま残されています。また、作業現場におけるリスクアセスメントが努力義務として定められていますが、人の行動をターゲットとした対策は十分行われていないのが現状です。そこで、人の安全行動を確立し、不安全行動を減らすためには、行動分析学的介入が有効と考え、産業安全の領域で行動分析学の理解を求め、安全対策として行動分析学的手法を広く活用するために研究発表会を開催し、心理学及び産業安全分野との融合を図りたいと思っています。</p> <p>研究会実施内容 第1回産業行動分析学研究会「ヒューマンエラーの削減と安全行動の強化を目指して」 日時：平成30年2月24日（土）10:00-16:00 会場：オフィス東京（東京都中央区京橋1-6-8 コルマ京橋ビル） プログラム 研究会主旨説明 10:00-10:15 代表 北條 理恵子 教育講演1 10:20-11:20 機械安全領域の現状と課題に対する提案 清水 尚憲 同研究所 機械システム安全研究グループ 統括研究員 教育講演2 11:30-12:30 行動分析学から見る人間行動の理解 伊藤 正人 大阪市立大学 名誉教授 話題提供1 13:45-14:25 作業現場における行動分析学的介入の試み 北條 理恵子 コメンテーター 小野 浩一 駒澤大学 名誉教授 話題提供2 14:35-15:05 内的出来事に着目した安全へのコミットメント 職場安全のためのACT（アクセプタンス&コミットメントセラピー） 土屋 政雄 （株）アドバンテッジ リスクマネジメント 主任研究員 話題提供3 15:10-15:40 看護職者の腰痛予防に資する教育的介入の評価 移乗介助におけるスコアフィードバックとバイオフィードバックによる比較検討 高野 佳子 滋慶医療科学大学院大学 飛田研究室 研究生</p> <p>成果 32名の参加者があり、心理学のみならず多方面の異業種の参加がありました（出席者リスト参照）。ある企業からは、寄付の申し出もありました。</p> <p>将来計画 来年に第2回目の研究会を開催したいと考えています。来年はゼネコン（清水建設）からトンネル工事現場での行動分析の活用の可能性について教育講演を行ってもらう予定です。心理学方面では、駒澤大学の小野浩一教授から行動分析学の講演をしてもらうようお願いしてあります。心理学と産業分野との情報交換の場として研究会を行いたいと考えています。</p>		

研究会参加者リスト

〈研究会名〉				
(産業行動分析学研究会)				
研究会開催日：平成30年2月24日(土)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	野川由紀	帝京大学医療技術学部視能矯正学科	○	
2	三原泰司	清水建設(株)土木技術本部 地下空間統括部		
3	濱島京子	独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所電気安全研究G(機械システム安全研究		
4	清水尚憲	独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 機械システム安全研究グループ		
5	飛田伊都子	滋慶医療科学大学院大学		
6	高野佳子	滋慶医療科学大学院大学飛田研究室研究生		
7	渡部要	室町機械株式会社 技術開発部		
8	眞砂英樹	所属：海洋研究開発機構		
9	渡部政宏			
10	渡部明子	がん研有明病院		
11	白石賢	首都大学東京・都市教養学部	○	
12	富樫法仁	東芝ITコントロールシステム(株)検査・メカトロシステム事業部技術開発担当		
13	汐元亜美	室町機械(株)		
14	袴田康佑	室町機械株式会社 技術開発部		
15	佐藤公生	室町機械株式会社		
16	八重樫勇介	北海道医療大学心理科学部臨床心理学科	○	
17	大屋昌弘	東京都下水道局施設管理部		
18	岸村厚志	滋慶医療科学大学院大学 研究生		
19	日下部茂	長崎県立大学		
20	和田山智子	滋慶医療科学大学院大学 修士課程		
21	土屋政雄	(株)アドバンテッジ リスク マネジメント 主任研究員	○	
22	北條理恵子	独)労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所産業毒性・生体影響研究G(機械システム安全研究	○	
23	伊藤正人	大阪市立大学名誉教授	○	
24	小野 浩一	駒澤大学 名誉教授	○	
25	東辻保則	滋慶医療科学大学院大学 医療安全管理学科修士課程在学中 飛田研究室		

	氏名	所属	会員	認定 心理士
26	伊藤幸生	東京産業保健総合支援センター メンタルヘルス対策促進員	○	
27	長岡祐司	石油資源開発株式会社 HSE統括部 保安衛生グループ 衛生問題担当(嘱託)		
28	中鹿直樹	立命館大学 総合心理学部 准教授	○	
29	小島英郷	清水建設(株)土木技術本部 開発機械部 技術開発グループ グループ長		
30	渡部里奈	明治安田生命		
31	本江彰	日本ヒューマンファクター研究所		
32	井熊隼人	一般財団法人 日本品質保証機構(JQA)認証制度開発普及室		

(様式5)

H30年3月2日

日本心理学会研究会平成29年度会計報告書

研究会名称 産業行動分析学研究会

研究会番号 研17001

助成金額 ￥40,000

年月日	項目	金額
H30. 2. 24	講師交通費（伊藤正人先生分、大阪—東京間往復）	¥30,000
H30. 2. 24	講師講演料（清水尚憲先生分）	¥10,000

支出合計 ￥40,000